
17の夏

まあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

17の夏

【Nコード】

N1866Z

【作者名】

まあ

【あらすじ】

冴えない17歳の主人公君の異世界冒険物語？

作者が未熟ゆえ投稿が遅い、訳分からん等たくさんありますが

プロローグ（前書き）

頭にあるもの書いてみました。
表現下手くそです。すみません

プロローグ

それは夏の日、太陽も沈みかけ辺りが暗くなって星が輝き出す当たり前の夜の風景。

どこにでもある住宅街の車が二台ギリギリで通れる幅の帰り道を少年は歩いていた。

「はあ、もう部活なんか辞めてしまおか、どうせレギュラーとれないし毎日こんな時間に帰宅なんてやってられん」

高校二年生に入っても彼の所属するテニス部は先輩後輩関わらずとにかく走らされる。

おかげさまで走力だけはいった。

しかし、とにかくキツく長い練習に限界を感じ部活なんぞ辞めて遊びに行きたい年頃。

こんな部活なら最初から入らなければよかった

と

彼は暗い気分のままうつむきながら歩いていた。

そんなことを考えながら頭上の星でも見ようとふと顔を上げた瞬間、彼の思考は飛んだ

目の前にあるマンションを軽々とまたいで歩く巨人？黒い影？

とにかくなんだか分からんものがゆっくりと歩いていた！

「えっ！？何あれ！？幻覚！？」

幻覚にはあまりにはつきり見える現象に彼は目を擦った。

恐る恐る目を開く

そこにはいつも通りの我が家があった

「ほっ、まあ走り過ぎで疲れてたんでしょ」

そう自分に言い聞かせて彼は足早に帰宅した。

世界の崩壊

心地よい日差しが彼の顔に柔らかく降り注ぐ。
朝だ。

「うーむ、何時だ？」

田中ユウキ 17歳

公立の程々の高校に通う冴えない少年。
ただ走らされるだけのテニス部に所属し、今日はうんざりなテニス部を退部しようと昨晚自問自答の末に答えをだした。

眠たい目を擦りまだなっていない目覚まし時計を手に取り時間をを確認する。

「10時!？」

10時といえはすでに一限が始まる時間だ、
いつもなら8時には家を出て9時に学校には着くはずが

「やべー!!!遅刻!!!」

急いで制服に着替え階段をバタバタ下りリビングのある一階へ
「誰もいない？」

田中家はこの時間でも専業主婦の母や二トの兄貴などが必ずいるはずだが。

それより人の気配と言うより時が止まったかのように静かだ。

「なんだ これ」

窓の外を覗いたユウキは絶句した。

普段の街並みとはかけ離れた殺風景。

近くにあったマンションやコンビニは破壊されてると言うより切り取られほとんどが原型をとどめてなかった。

急いで家を飛び出した。

とにかく人がいそうな場所へ！
ユウキは訳も分からず走った！

「はあっはあっ！」

家から二、三分の小さな私鉄が通る駅に着いても事情は変わらず。

「どおなってんだよ！」

訳も分からず叫ぶユウキ。

キーン！

耳鳴りみたいな頭を搔き毟る様な音が体にまとわりついた。

「なんだあれ！？」

駅のすぐ近くにある唯一の10階建の高いビルの上に黒い影？の様な細いものが現れた。

「生き物？」

よく見ると目がある。

その瞬間ユウキのすぐ前にもものすごいスピードで近づいて来た！

「うわっ！」

情けない声と共に腰を抜かしてしまった。

黒い影は近くでみると人造人間のようで生き物とは呼べないような

風格、二メートルはあるだろう全長を黒いマントみたいなもので覆っている。

機械みたいな腕からユウキの身長と同じくらいの鋭い爪を出しユウキの首にひっかける。

「俺、死ぬの？」

そうつぶやいたとき、遠くから刀がとんで黒い影に突き刺さる！

ギギギツ！

刀は見事に黒い影の首に突き刺さり緑色の液体が吹き出ている。

「よかった！間に合った！」

知らぬ女性の声。

そこにはブラウンの腰まである髪の20代前半だろうか美しい女性が立っていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1866z/>

17の夏

2011年12月6日23時52分発行